

旅館・ホテルの経営者の皆さまへ

宿の未来を担う 人材に、 データ活用の基礎を。

数字を読み解き、根拠をもって考える力を、
これからの宿泊経営を支える人材育成に。

学びが、
宿の未来を
つくる。

これからの宿泊経営を支える人材へ

旅館・ホテルは、地域の観光消費を支える重要な存在です。

これからの宿泊経営には、自社の内部環境に加えて、顧客や観光市場、地域の動向を捉える視点がより重要となります。そのためには、データを正しく読み解き、根拠をもって考える力が必要になります。

若手のうちから、その基礎を学ぶことが将来の人材育成につながります。

宿の成長は、
地域の未来につながる



1 地域の観光消費を支える存在



宿泊施設は、地域の観光消費をうみだし、地域経済を支える重要な存在です。

2 顧客や市場、地域の動きを捉える視点



これからの宿泊経営には、地域の観光動向や世界の動き、観光客の行動変化を捉える視点がより重要となります。

3 データを読み解き根拠をもって考える



そのためには、データを正しく読み解き、根拠をもって考える力が必要になります。

4 若手の学びが将来の人材育成に



若手のうちから、その基礎を学ぶことが、将来の人材育成につながります。

教材で学ぶこと



データを正しく読み解き、活用するための基礎

データの見方、集計・分析の基礎、データに基づいて考えるための知識など、実務につながる基礎を学びます。

実務へのつながり

数字を根拠に考え、仕事の改善やマーケティングに活かす力へ

身につけた基礎を、日々の業務や今後の企画・施策の検討に活かしていくことを目指します。



観光DX検定【初級】の教材・eラーニングで学べます

観光業界に必要なデータ活用の基礎知識を、わかりやすく学べる教材とeラーニングをご用意しています。

データを学ぶことは、
未来の宿と地域をつくること。



宿の成長

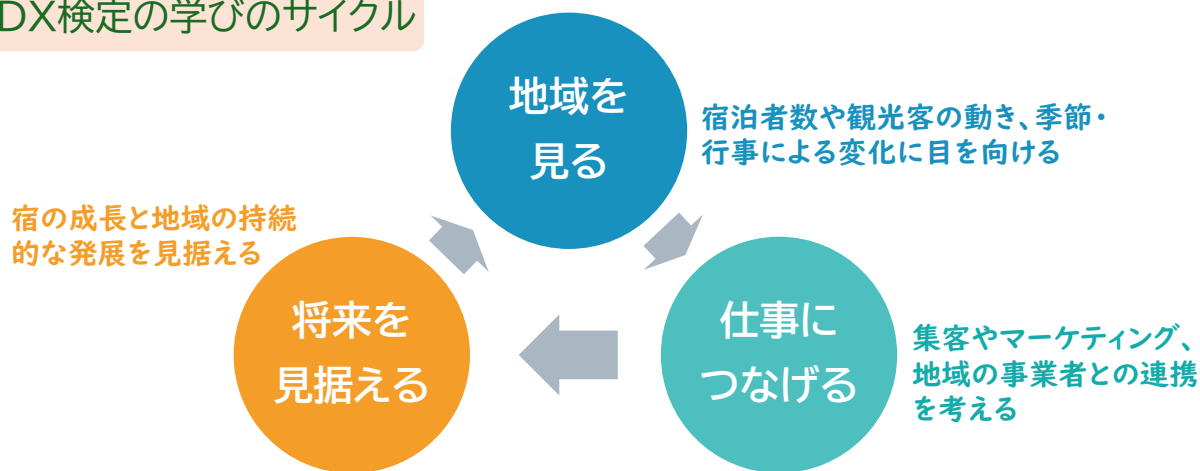


人材の育成



地域の持続可能性

◆観光DX検定の学びのサイクル



◆学んだ知識が実務へつながります

宿を取り巻く観光市場や地域の動きを理解する視点は、集客やマーケティング、地域事業者との連携を考えるうえで役立ちます。学んだ知識を日々の仕事や将来の経営に活かし、宿の成長と地域の持続的な発展につなげます。

●将来、地域で活躍する観光産業人材に必要な力を育てる

観光DXの背景やデータ活用の基本的な考え方、データの集計・分析などを学びます。統計やビッグデータなどの特徴も理解し、数字やデータを正しく読み解き、根拠をもって考えるための基礎力を身につけます。

01

観光DX・観光地経営の基礎

観光DXが必要な背景、観光地経営、DMOなど

02

データを読み解く基礎

統計、データの種類、代表値、グラフ、相関、クロス集計など

03

観光分野でのデータ活用

KGI・KPI、観光マーケティング、e-Stat、RESASなど

●学びを支える4つの教材

初心者にもわかりやすい教材セットです。観光DXの基本から、データ分析、観光地経営やマーケティングまで体系的に学べます。



テキスト

観光DXに必要な知識を体系的に学べる基本教材。



動画10本

学識者や専門家がわかりやすく解説。(1本30分)



推奨ツール

e-Stat、RESASなど観光動向の把握に有用なツールを学習。



実践問題100問

過去の出題をもとにした問題で、学んだ知識を確認。

第2回【初級】検定概要

- ・日時 2026年12月6日(日)
9:00~17:00(時間内いつでも受験可)
検定申込締切11月24日(火)
- ・試験形式 オンライン(IBT方式*) 60分
- ・出題数 45問 多肢選択
- ・合格基準 正答率70%以上

【初級】料金(1人当たり・税込み)*

- ・初級学習セット 33,000円
(テキスト・動画・実践問題一式)
- ・テキスト 3,300円
- ・検定受験料 6,600円

*IBT方式:webカメラ付きPC・タブレット・スマートフォンなどを使い、ご自宅・職場などのインターネット環境のある場所から受験が可能です。
*受講・受験の際は、不正やなりすまし防止のため、公的機関が発行した本人確認書類の登録をお願いしておりますのでご了承ください。



団体利用・研修への導入についてはお気軽にご相談下さい



日本観光振興協会Dカレッジ担当 jinzai@nihon-kankou.or.jp

観光DX
検定サイト

